

令和2年度 自己評価総括

①環境・体制整備・業務改善

前年度と変わらず職員体制の勤務が維持できている為、支援体制の安定性を確保することが出来ています。COVID-19により、活動参加の場や療育内容の制限による環境の変化が生じていますが、そのような状況でも療育の質の確保はしています。感染予防対策の為、利用者様や職員のバイタル管理や移動状況等の情報収集、また、事業所内の利用者様や職員間の距離の確保や交流時間の制限、療育後の手洗いやアルコール消毒、定期に換気等もしています

療育内容だけでなく利用者様のご様子等も、口頭だけでなく紙面にて保護者様にお伝えすることで、細かく情報の開示もしています。

事業所の設備等は、感染予防対策の為、アルコール類だけでなく空気清浄機等の購入をしました。

事業所内での研修等は困難な状況ではありますが、協議会等に参加し現状の把握や他事業所との意見交換などもしています。

②適切な支援提供

療育プログラムは、COVID-19により、まずは利用者様や保護者様に安心して事業者を利用していただけるように、上述した感染予防対策や情報の開示をしています。以前のように対面にて情報を共有することは困難な状況ですので、紙面や電話等にて連携し個別支援計画を作成・説明しています。集団での活動内容の制限があるので、そのような環境でも、様々な利用者同士の交流を取り入れる等、個別に合わせた療育内容をしています。

利用者様の事業所以外での参加や活動内容の縮小によるストレスの増加を感じ、その為、問題行動も増えているという意見も伺いました。事業所を利用することで、そのようなストレスも軽減することが出来、継続して利用者様の成長も感じているという保護者様の意見も伺っています。

事業者内での個別に合わせた養育内容の検討や環境設定等を検討はしていますが、他事業所との連携を図ることで、様々な視点からの支援につなげていければと思います。

③関係機関や保護者との連携・説明責任等

保護者様や関係機関等と連携し個別支援計画を作成・説明し行っています。また、協議会などに参加する中でも情報共有や連携を行っています。

④非常時等の対応

COVID-19による感染予防対策マニュアルを作成し、職員に十分に把握することや、利用者様保護者様にも事業所としての対応等も周知していただいております。